



(題字 小黒千足 学長)

第346号

(平成5年10月号)



大学間協定書に調印する本学小黒学長とマレーシア工科大学リズアン副学長  
(平成5年10月31日(日) 於：マレーシア工科大学)

目 次

学 内 諸 報

- ◆ マレーシア工科大学と大学間協定を締結 ..... 3
- ◆ 第31回全国厚生補導研究集会を開催 ..... 4
- ◆ イベント「研究情報発進—夢大学 in TOYAMA '93—」の実施 ..... 5
- ◆ 外国人留学生を対象とした見学会を実施 ..... 7
- ◆ 海外渡航者 ..... 8

学内トピックス

- ① 附属中学校コーラス部全国大会で「金賞」に輝く!! ..... 9

学 事

- ◆ 平成 6 年度 富山大学学生募集要項の発表 ..... 10
- ◆ 平成 6 年度 民間等との共同研究受入れ一覧 ..... 16
- 人 事 異 動 ..... 17
- 学 位 取 得 者 ..... 17
- 関 係 法 令 ..... 18
- 職 員 消 息 ..... 18
- 計 報 ..... 19
- 諸 会 議 ..... 22
- 主 要 行 事 ..... 23





## 学 内 諸 報

## マレーシア工科大学と大学間協定を締結

平成 5 年10月31日(日)マレーシア工科大学にて

かねてからの懸案となっておりました、本学とマレーシア工科大学との学術交流協定が、去る10月31日(日)マレーシア工科大学において締結されました。

協定は、小黒学長、時澤工学部長、今田事務局長ほか本学関係者が同大学を訪れ、会談後、小黒学長とリズアン副学長がそれぞれ協定書に調印し、取り交わされました。

この学術交流協定の締結により、本学とマレーシア工科大学との間では、

- ① 学術資料・刊行物及び情報の交換
- ② 教官・研究者の交流
- ③ 学生の交流
- ④ 共同研究及び研究集会の実施

など幅広い分野で、今後、一層充実した交流が実施されていくものと期待されます。

なお、調印式における小黒学長の挨拶は次のとおりです。



## 調印式学長挨拶

今回、マレーシア工科大学と富山大学との間で、大学間学術交流協定を締結するため、本日当地に参ることが出来ましたのは、私の大きな喜びとする処であります。

顧みますと、マレーシア工科大学と、富山大学工学部の間に交流が出来たのはかなり前で、それ以来両者の交流は次第に密接になって参りました。1989年には富山大学工学部の教授4名が、マレーシア工科大学を訪れ、意見の交換と同大学の見学を致しました。その折には、

富山大学工学部とマレーシア工科大学との間で今後継続して交流を行うことが同意されました。また、両者の交流協定締結の可能性が探られました。

さらに、昨年はマレーシア工科大学のヤシン先生が富山大学を訪問され、富山大学工学部の見学と、工学部教授との間で意見の交換を行いました。また、大学間協定の締結を希望されました。さらに、リズアン副学長も富山大学を訪問され、両大学の交流協定締結に強い熱意を

示されました、これらの先生の富山大学訪問には、改めてお礼申し上げます。

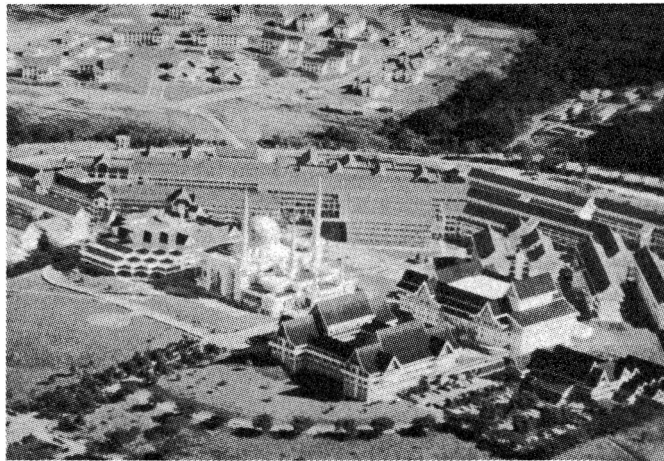
一方、私どもも両学の密接な提携を希望しておりましたが、マレーシア工科大学との交流協定締結に至る前に解決しなければならないことがございました。たとえば、工学部以外の学部との調整、マレーシア以外の国の大学との交流交渉の進捗との関係などであります。この度はそれらを総て終え、提携協定調印の運びになりました。

先ほど申し上げたように、双方の希望が叶うことになり、富山大学の関係者一同喜んでおります。この学術交流協定の締結により、両大学間の研究者の交流、情報と

文献の交換、さらには技術の研修計画など、多くの面で、双方に大きな利益をもたらすものと信じております。この協定締結を契機に、マレーシア工科大学と富山大学、ひいては両国の親善と発展がさらに進むことを願っております。

なお、この学術交流協定が終結に至るまで、努力を戴いた両大学の関係者に厚くお礼を申し上げ、この場をかりて、深く謝意を表すものであります。

以上、マレーシア工科大学と富山大学との間に、大学間学術交流協定が締結されるに当たりましての私の挨拶と致します。



▲ マレーシア工科大学キャンパス

## 文部省及び富山大学の主催

### 第31回全国厚生補導研究集会を開催

—今後の厚生補導の在り方を討議・検討—

第31回全国厚生補導研究集会が、全国学生補導厚生研究会連合会、文部省及び富山大学の主催により、去る10月20日(水)から22日(金)までの3日間、富山県民会館を会場に開催されました。

この研究集会には、全国の国・公・私立大学（短期大学を含む）において日頃学生の勉学、課外活動等学生生活全般にわたる指導、助言並びにこれに伴う諸業務の遂行に当たっている教職員415人（308校）が参加しました。

シンポジウムでは、下平尾 勲 福島大学経済学部教授、笈田知義 富山県立大学学生部長、畑 道也 関西学院大学学生部長をシンポジストに迎え、「今後の厚生補導の在り方」をテーマに活発な意見交換が行われました。さらに分科会では、「厚生補導体制」、「課外活動」、



▲ 小黒学長の講演「人間の社会と動物の社会」

「自治活動」及び「福利厚生」の4領域を12の分科会に分け、各分科会3人、計36人の話題提供者から日常の業務を通じた具体的な発表があり、これをもとに熱のこもった討議が展開され、その成果は22日の最終日に全体会議で報告されました。

また日本山岳会会長 藤平正夫氏が「登山と人生」、小黒学長が「人間の社会と動物の社会—動物学的にみた大学と学生—」と題してそれぞれ興味のある講演を行いました。

この研究集会の成果は報告書として取りまとめ、全国学生補導厚生研究会連合会から来年7月頃刊行される予定です。



▲ 各分科会における討議風景

大学開放事業（イベント）

『研究情報発進 — 夢大学 in TOYAMA '93 —』大好評



▲ 一夢大学 in TOYAMA '93— 会場及び受付風景

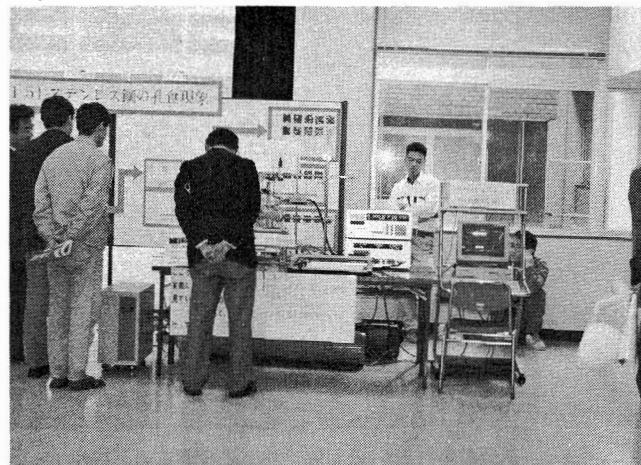
去る10月24日(日)地域共同研究センターの主催で、「研究情報発進—夢大学 in TOYAMA '93—」が開催されました。このイベントは、大学開放事業の一つとして、昨年に続いて行われたもので、理工系の研究の実体につれながら、高校生や地域住民の方々に研究内容をできる限り楽しく理解願えるよう企画され、工学部、理学部、教育学部及び低温液化室が参加して実施されました。

当日会場では、「地球温暖化の元凶 炭酸ガス」工学部、「未来への鍵、植物DNAの研究」理学部、「衣服の快適性を科学する」教育学部、「極低温の不思議」低温液化室など合わせて31の研究内容についてパネル展示や研究紹介が模擬実験をまじえながら紹介されました。

当日は、雨模様の天候にもかかわらず、五百数十人の入場者があり、研究スタッフの説明に耳を傾け、また熱心な質問が行われるなど各コーナーとも終日にぎわいました。



▲ “コンピュータ・シミュレーション”に取り組む参加者たち



▲ “ステンレス鋼の孔食現象”についての模擬実験

模擬実験を含むパネル展示形式で紹介された研究テーマ及び担当主任教官
-----------------------------------

## \*衣服の快適性を科学する

教育学部被服学 助教授 諸岡 晴美

## \*高分子の世界

教育学部化学 教授 竹内 茂彌

## \*光は面白い

理学部物理学科 教授 高木光司郎

## \*低級アルカンの酸化活性触媒について

理学部化学科 教授 松浦 郁也

## \*未来への鍵、植物 DNA の研究

理学部生物学科 教授 山田 恭司

## \*雪水分野からみた日本の南極観測

理学部地球科学科 助教授 川田 邦夫

## \*“気候温暖化”って何？ 世界はどうなるの？

理学部生物圏環境科学科 教授 小島 寛

## \*本を読むコンピュータ！

工学部電子情報工学科 教授 米田 政明

## \*フラットディスプレイ技術の世界

工学部電子情報工学科 教授 女川 博義

## \*EMCについて

工学部電子情報工学科 教授 西塚 典生

## \*セラミックス被膜による機械要素部材の表面改質

工学部機械システム工学科 教授 塩澤 和章

## \*新素材の塑性加工

工学部機械システム工学 教授 時澤 貢

## \*制御技術を利用した超精密静圧軸受の開発

工学部機械システム工学科 教授 大住 剛

## \*超精密旋盤におけるオンマシン鏡面形状測定

工学部機械システム工学科 教授 吉川 和男

## \*ステンレス鋼の孔食現象

工学部物質工学科 教授 新井 甲一

## \*アルミニウム合金「製品までの苦闘の日々」

工学部物質工学科 教授 多々 静夫

## \*生物による生化学物質の生産

工学部化学生物工学科 教授 笹倉 壽介

## \*ディーゼル自動車排気ガスからの

強力な発癌性化合物の生成

工学部化学生物工学科 教授 長谷川 淳

## \*応用微生物工業における遺伝子工学の現状と

有用物質生産細菌類の分離と応用

工学部化学生物工学科 教授 井上 正美

## \*地球温暖化の元凶 炭酸ガス!!

工学部化学生物工学科 教授 加藤 勉

## \*極低温の不思議

低温液化室 室長 桜井 醇児

## \*空中でアルミニウムの円板が回る！

工学部電子情報工学科 教授 藤田 宏

## \*コンピュータ・シミュレーション

工学部電子情報工学科 教授 山淵 龍夫

## \*なぜ体でランプが？ 一体験高電圧の不思議—

工学部電子情報工学科 教授 池田 長康

## \*水質を調べる

理学部生物圏環境科学科 教授 後藤 克己



▲ “高分子の世界”の実験で熱心に質問する高校生



▲ “空中でアルミニウムの円板が回る！”の装置を興味深く見つめる参加者

## 講演形式で紹介された研究テーマ及び担当主任教官

## \*花と虫の共進化

理学部生物学科 教授 鳴橋 直弘

## \*視覚の科学

工学部電子情報工学科 助教授 中嶋 芳雄

## \*脂質膜界面における分子認識過程

工学部化学生物工学科 教授 北野 博巳

## \*抵抗率一測定法と規格

教育学部技術科 助教授 山下 正人

## \*伝熱促進体による水の凝固及び融解の促進

工学部機械システム工学科 講師 平澤 良男

## \*軽量高強度TiAl金属間化合物の構造設計

工学部物質工学科 助手 草開 清志

## 外国人留学生を対象とした見学会を実施

—富山の「科学・文化・自然」に歓喜—

学生部では、去る10月7日(木)に外国人留学生を対象として富山県の先進的な科学技術や自然及び文化等について理解を深めてもらうことを目的に見学会を実施しました。この見学会には、中国、マレーシア、台湾ほか3か国の留学生47人の参加があり、大学側からは、浜谷学生部長をはじめ国際交流委員会留学部会委員及び学生部職員が参加しました。

見学会は、午前中に吉田工業(株)黒部事業所を訪れ、超高感度のPRビデオによる説明を聞いたのち、ファスナー、アルミ建材部門の原材料から製品に至るまでの完全一貫生産システムによる製造工程等、午後からは、魚津埋没林博物館で、特別天然記念物である埋没林の樹根の観察等を行い、その後広貫堂(株)では、300年も続いている「とやまの薬」の歴史を学び、手作業部門の多い薬の製造工程等を見学しました。これに参加した留学生たちは、

見学会で得た貴重な体験をとおして、見聞を一層深めたことと思います。



▲ 魚津埋没林の樹根に見入る留学生たち





# 海外渡航者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	工学部	教授	龍山 智榮	ロシア	第 1 回日本・ロシア半導体表面会議に出席	5. 9. 5 } 5. 9. 12
	理学部	"	松浦 郁也	オランダ, スペイン, イタリア	選択酸化国際会議に出席他	5. 9. 10 } 5. 10. 11
	経済学部	助教授	西村 秀二	大韓民国	環日本海経済交流に関する調査	5. 9. 13 } 5. 9. 17
	"	教授	桂木 健次	"	"	5. 9. 15 } 5. 9. 20
	工学部	"	宮下 尚	オーストラリア	第 6 回 APCCHE (アジア太平洋化学工学連合) 大会に出席, 研究発表他	5. 9. 18 } 5. 10. 1
	"	助手	山本 健市	"	"	"
	"	教授	杉本 益規	"	"	"
	理学部	助教授	竹内 章	中華人民共和国	活構造調査	5. 9. 20 } 5. 10. 11
	工学部	教授	竹越 栄俊	アメリカ合衆国, カナダ	第 4 回寒地圏熱工学国際会議に出席, 研究発表他	5. 9. 22 } 5. 10. 4
	理学部	助教授	高安 紀	イタリア, アメリカ合衆国	二酸化炭素の有効利用に関する国際会議に出席	5. 9. 24 } 5. 10. 8
	工学部	講師	平澤 良男	アメリカ合衆国	第 4 回低温域熱工学国際シンポジウムに出席	5. 9. 27 } 5. 10. 4
	"	"	小出 真路	"	3次元電磁粒子コードによる電流ループ合体の研究	5. 9. 27 } 5. 10. 10
	理学部	教授	東川 和夫	アメリカ合衆国	不変計量による複素解析に関する研究 (文部省在外研究員)	5. 9. 30 } 6. 7. 29
海外研修	工学部	助教授	江上 繁樹	フランス	「多面体上の格子点」研究集会に出席, 研究発表他	5. 9. 2 } 5. 9. 21
	教育学部	"	西川 友之	タイ	バレーボール審判技術研究及びタイの民俗スポーツに関する調査研究	5. 9. 6 } 5. 9. 21





学

事

## 平成6年度 富山大学学生募集要項の発表

平成6年度の「推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜学生募集要項」が9月6日(火)に、「一般選抜学生募集要項」及び「私費外国人留学生募集要項」が10月13日(火)に発表されました。既に「入学者選抜要項」では、入試の概要が発表されており、このたびの学生募集要項では、具体的な入試日程、出願方法、検査日時、合格発表、入学手続き等について詳細に記載されております。

なお、平成5年度学生募集要項との主な相違点は、次のとおりです。

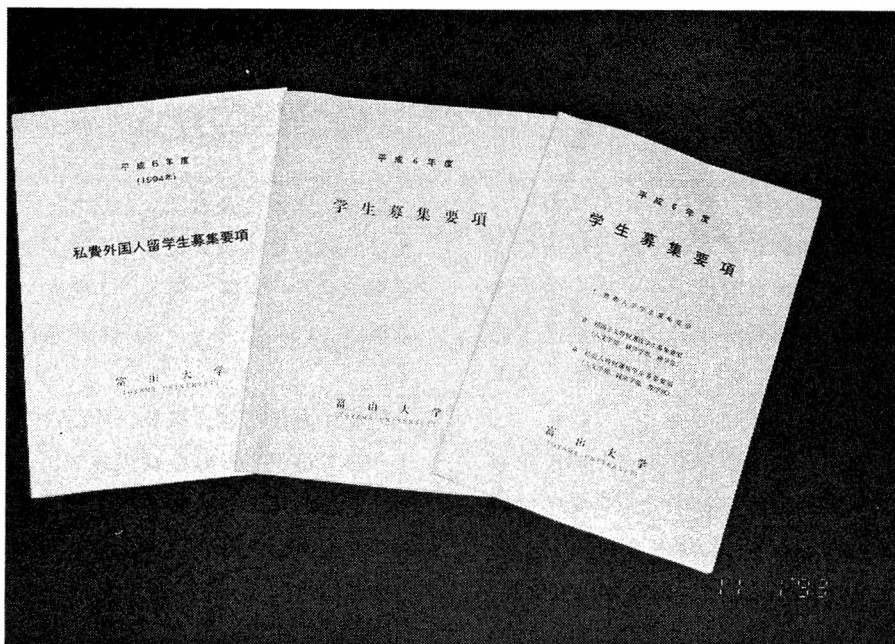
① 経済学部「昼間主コース」の募集人員について、10人減（臨時増募分）の計画があることを予告したこと。

② 平成7年度入試から教育学部中学校教員養成課程が、「分離・分割方式」を導入することに伴い、その概要を予告したこと。

③ 人文学部・理学部の学科改組・新設により、当該学科にかかる事項等を記載したこと。

④ 経済学部「夜間主コース」、理学部数学科及び工学部化学生物工学科の後期日程で新たに個別学力検査等を課すことに伴い、必要な事項等を記載したこと。

また平成6年度の募集人員及び入試日程の概要は、11～15ページに記載したとおりです。



▲ 平成6年度富山大学学生募集要項(中)、同推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜学生募集要項(右)及び同私費外国人留学生募集要項(左)

## 1 募集人員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員			募集人員に含まれる特別選抜の募集人員
				前期日程	後期日程	A日程	
人文学部	人文学科		70	55	15		(前期日程) 推薦入学(5人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	国際文化学科		40	30	10		(前期日程) 推薦入学(3人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	言語文化学科		95	70	25		(前期日程) 推薦入学(7人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	計		205	155	50		
教育学部	小学校教員養成課程		100	70	30		
	中学校教員養成課程		50			50	(A日程) 推薦入学(12人…数学, 理科, 美術, 保健体育, 家庭及び技術の各専攻2人)
	養護学校教員養成課程		20	14	6		
	幼稚園教員養成課程		30	21	9		
	情報教育課程	教育情報コース	24	18	6		(前期日程) 推薦入学(6人)
		環境情報コース	16	12	4		(前期日程) 推薦入学(4人)
		小計	40	30	10		
計		240	135	55	50		
経済学部	昼間主コース (注2)	経済学科	159	126	33		(前期日程) 推薦入学(30人), 帰国子女特別選抜(若干名)
		経営学科	124	98	26		
		経営法学科	102	81	21		
		小計	385	305	80		
	夜間主コース	経済学科	20	16	4		(前期日程) 推薦入学(20人), 社会人特別選抜(20人程度)
		経営学科	20	15	5		
		経営法学科	20	15	5		
		小計	60	46	14		
(注1) 計		445	351	94			
理学部	数学科		53	46	7		(前期日程) 推薦入学(16人), 帰国子女特別選抜(若干名)
	物理学科		47	37	10		(前期日程) 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	化学科		38	30	8		(前期日程) 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	生物学科		40	33	7		(前期日程) 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	地球科学科		32	27	5		(前期日程) 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	生物圏環境科学科		30	25	5		(前期日程) 推薦入学(5人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	計		240	198	42		
工学部	電子情報工学科		132	105	27		(前期日程) 推薦入学(18人)
	機械システム工学科		101	80	21		(前期日程) 推薦入学(13人)
	物質工学科		83	66	17		(前期日程) 推薦入学(12人)
	化学生物工学科		86	68	18		(前期日程) 推薦入学(12人)
	計		402	319	83		
合計		1,532	1,158	324	50		

(注1) 経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間の授業を履修するコースで、「夜間主コース」とは、主として夜間の授業を履修するコースですが、修業年限はともに4年です。

(注2) 経済学部「昼間主コース」では、平成6年度から上記募集人員について、385人から375人に改訂を計画しています。平成6年度予算の関係で現在は未確定ですが、この詳細は、政府予算案の決定後(平成6年1月頃)発表する予定ですので留意願います。

## 2 試験実施方式等

### (1) 実施方式・日程

本学の入学者の選抜は、分離・分割方式（前期日程・後期日程）と連続方式（A日程）とを併用して行います。

学部・学科（課程）ごとの実施方式は、次のとおりです。

実施方式・日程		学 部	学 科（課 程）
分離・分割方式	前期日程 ・ 後期日程	人 文 学 部	人文学科, 国際文化学科, 言語文化学科
		教 育 学 部	小学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程, 幼稚園教員養成課程, 情報教育課程
		経 済 学 部 「昼間主コース」 「夜間主コース」	経済学科, 経営学科, 経営法学科
		理 学 部	数学科, 物理学科, 化学科, 生物学科, 地球科学科, 生物圏環境科学科
		工 学 部	電子情報工学科, 機械システム工学科, 物質工学科, 化学生物工学科
連続方式	A 日程	教 育 学 部	中学校教員養成課程

### (2) 実施方式・日程間の併願

- ① 志願者は、分離・分割方式の「前期日程」グループ又は連続方式の「A日程」グループから一つ、分離・分割方式の「後期日程」グループ又は連続方式の「B日程」グループから一つの合計二つの国公立大学・学部（私立産業医科大学を含む。以下同じ。）に出願することができます。

したがって、併願が可能な方法は、次のとおりです。

「前期-後期」, 「前期-B」, 「A-後期」, 「A-B」

- ② 本学の前期日程・A日程の学部・学科（課程）と後期日程の学部・学科（課程）は、併願することができます。
- ③ 本学を含む前期日程の大学・学部合格し入学手続きを完了した場合は、本学の後期日程の学部・学科（課程）を受験してもその合格者とはなりません。

## 3 出 願 期 間

平成6年1月24日(月)から2月1日(火)までに必着のこと。

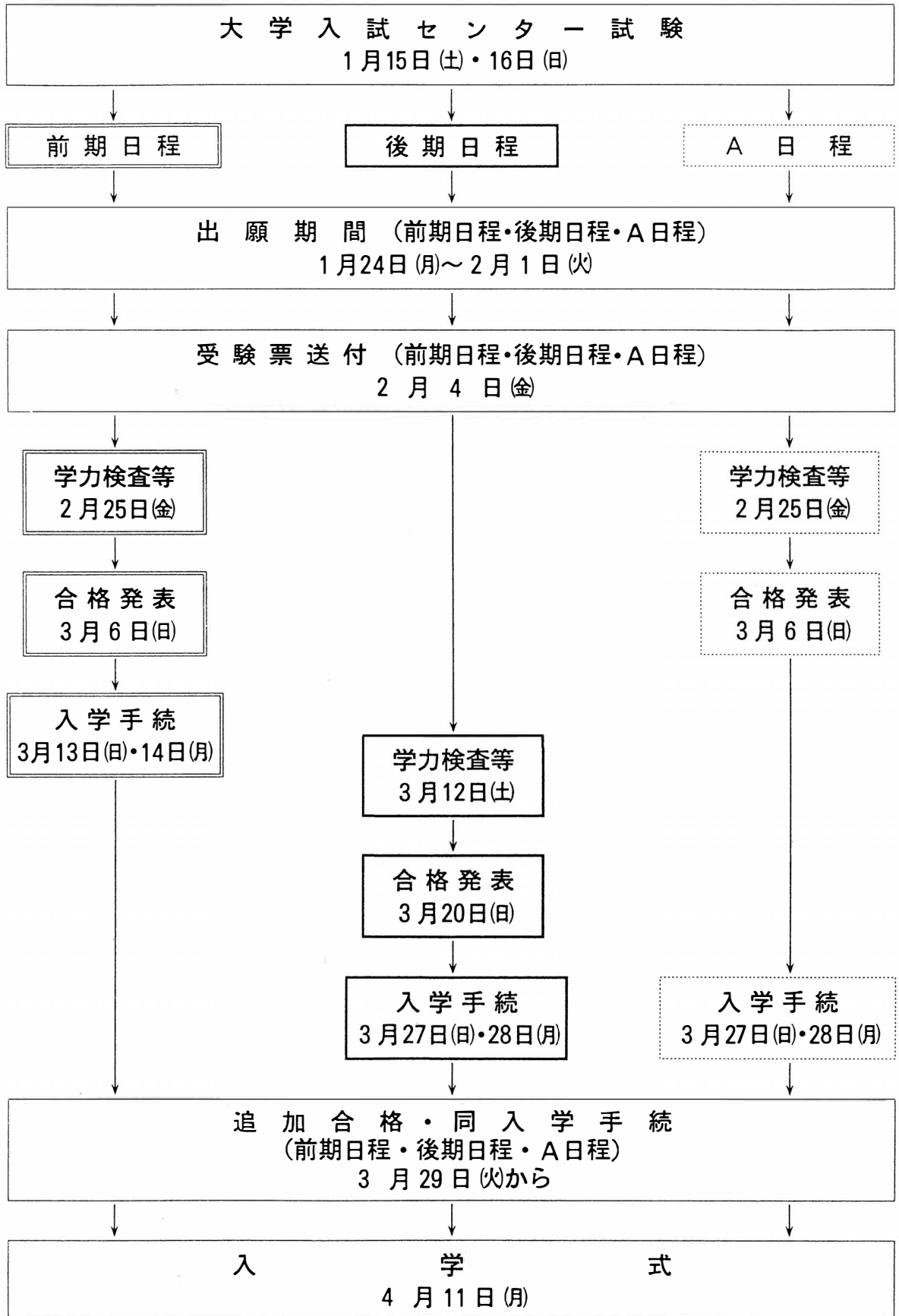
直接持参する場合は、毎日9時から17時までの間受け付けます。

ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。

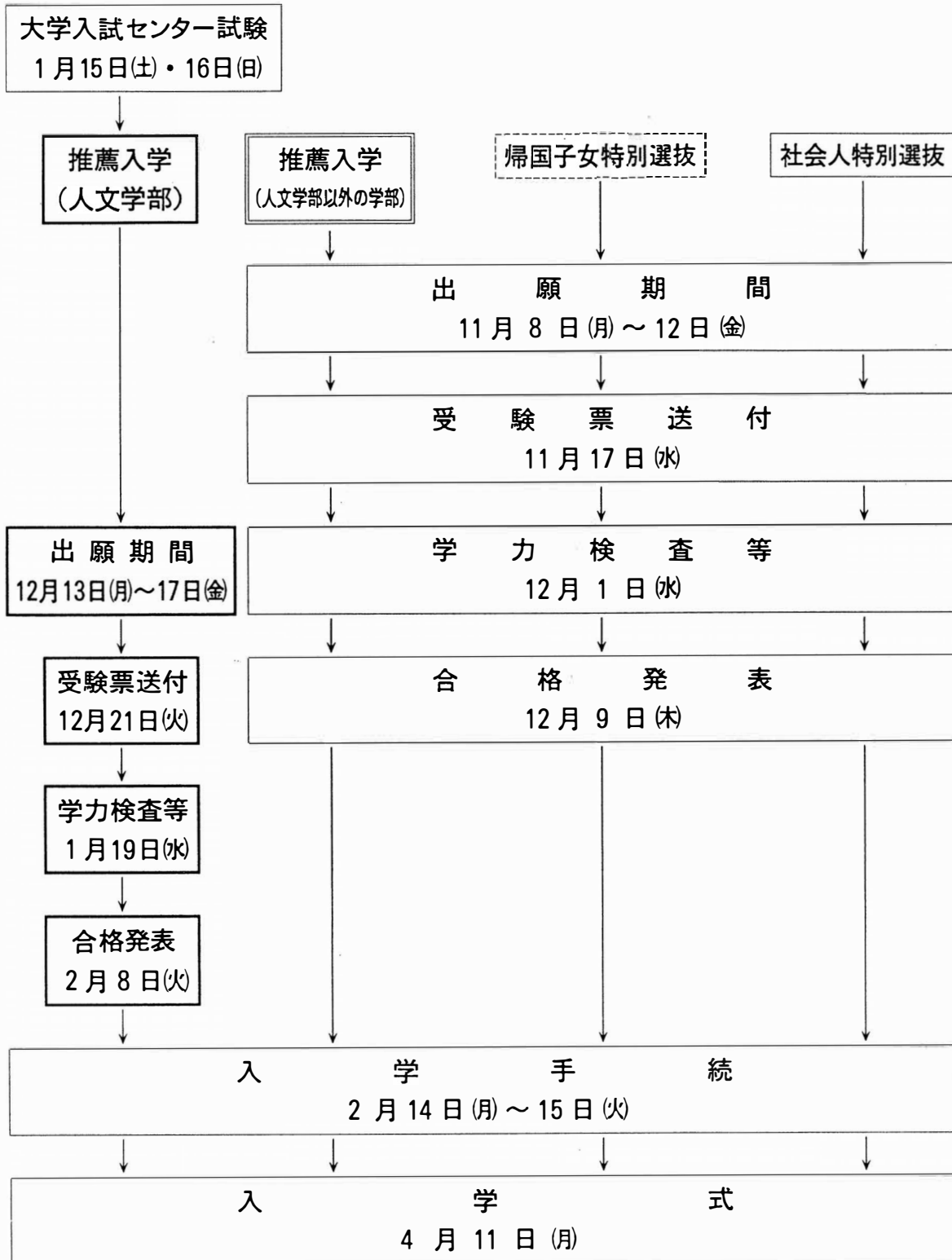
郵送の場合は、2月1日(火)17時まで到着するように送付してください。受付期限後に到着したものは受理しません。



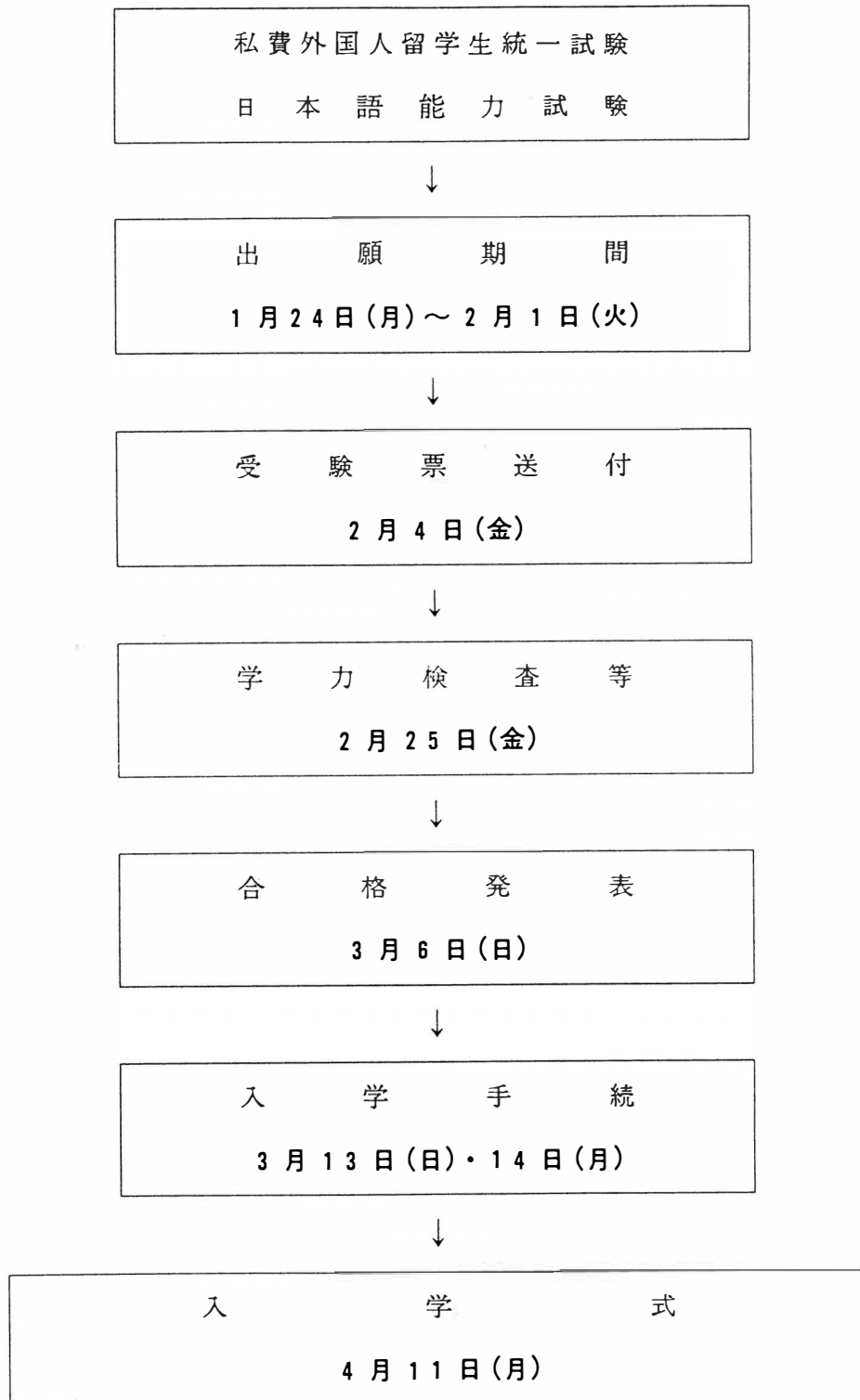
### 富山大学入学者選抜日程の概要



### 富山大学入学者選抜日程の概要（推薦入学等特別選抜）



## 富山大学入学者選抜日程の概要（私費外国人留学生特別選抜）



## 平成5年度 民間等との共同研究受入れ一覧

区分	研究 題 目	民 間 機 関 名	大学側研究代表者
A	大電流母線の接続・温度・強度に関する研究	(株)別川製作所	工学部 教授 池田長康
〃	熱プラズマと固体面間の熱伝達に関する研究	三菱重工業(株)	工学部 教授 岩淵牧男
〃	微生物起源の酵素による澱粉分解における阻害剤の影響	ヤヨイ化学工業(株)	工学部 教授 島崎長一郎
〃	超格子圧力センサの研究	立山マシン(株)	工学部 教授 龍山智榮
B	多孔体セルロース微粒子の機能化と特性解析に関する研究	レンゴー(株)	工学部 教授 北野博巳
〃	極低温鍛鋼管の開発	太平洋製鋼(株)	理学部 助教授 石川義和
〃	低 Mg 押出合金の開発	新日軽(株)北陸製造所	地域共同研究センター 助教授 池野進
〃	環状シアナミド類の熱特性と防燃機構に関する研究	日産化学工業(株)	工学部 教授 島崎長一郎
〃	高温、高温度差流体用コンパクト熱交換器の開発	(株)加積製作所	工学部 教授 宮下尚
〃	精密ピエゾミニチュアメカニズムの開発	(株)内日本システム	工学部 教授 小泉邦雄
〃	ステンレス鋼の鋸刃切削の適性	津根精機(株)	工学部 教授 能登谷久公
〃	研削加工における潤滑油成分の検討	日華化学(株)	工学部 教授 能登谷久公
〃	Al-Mg-Si 合金の熱処理における Mg <sub>2</sub> Si の挙動	吉田工業(株)	地域共同研究センター 助教授 池野進
〃	DNA による個人識別の研究	富山県警察本部	工学部 教授 島崎長一郎
〃	エージング条件の検討	立山アルミニウム工業(株)	地域共同研究センター 助教授 池野進
〃	電子機器の EMC 研究	吉田工業(株)	工学部 助教授 三日市政司
〃	断熱鋳型による連続鋳造法の研究	富山合金(株)	工学部 助教授 穴田博
〃	大画面 LCD の高精細化に関する研究	ホシデン(株)	工学部 教授 女川博義
〃	アルミニウムの電解着色に関する研究	三協アルミニウム工業(株)	工学部 助手 蓮覚寺聖一
〃	機能性材料に関する研究	アイシン軽金属(株)	工学部 教授 時澤貢
〃	雪発電に関する調査研究	関西電力(株)	理学部 教授 對馬勝年
〃	アルミニウム押し出し用ダイスの耐磨耗性向上の研究	本多金属工業(株)	工学部 教授 時澤貢
〃	ハイドレート化合物の置換反応に関する研究	北陸電力(株)	工学部 教授 加藤勉
〃	降雨・降雪の電荷量測定と雷撃予測に関する研究	北陸電力(株)	工学部 教授 池田長康
C	磁性体アクチュエータの開発	(株)不二越	理学部 助教授 石川義和
〃	高機能液晶材料の開発及びその物性測定	チッソ(株)機能材料事業部	工学部 教授 宮下和雄
〃	水素貯蔵合金の多機能化に関する研究	(株)日本製鋼所	水素同位体機能研究センター 教授 渡邊国昭
計			27件

## \*共同研究の区分

- A：民間機関等から研究者とともに直接経費を受け入れ、国立学校においても直接経費の一部を負担し、このため別途共同研究費（校費）の配分を要する場合
- B：民間機関等から研究者とともに直接経費を受け入れて実施するもので、国立学校においては直接経費の負担を要しないか、直接経費の一部を負担しても別途共同研究費（校費）の配分を要しない場合
- C：民間機関等から研究者の受入れのみを行い、研究の内容、性格から直接経費の措置を要しない場合

## \*年度別実施件数（過去5年）

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
19件	18件	27件	31件	27件



# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
併 任	5. 10. 1	菅谷 孝	教 授 (理学部)	理学部数学科長 (～6. 3. 31)
	〃	常川 省三	〃 ( 〃 )	〃 物理学科長 ( 〃 )
	〃	松浦 郁也	〃 ( 〃 )	〃 化学科長 ( 〃 )
	〃	鳴橋 直弘	〃 ( 〃 )	〃 生物学科長 ( 〃 )
	〃	広岡 公夫	〃 ( 〃 )	〃 地球科学科長 ( 〃 )
	〃	後藤 克己	〃 ( 〃 )	〃 生物圏環境科学科長 ( 〃 )
	〃	八木 寛	教 授 (工学部)	工学部電子情報工学科長 (～6. 3. 31)
	〃	岩淵 牧男	〃 ( 〃 )	〃 機械システム工学科長 ( 〃 )
	〃	西部 慶一	〃 ( 〃 )	〃 物質工学科長 ( 〃 )
	〃	長谷川 淳	〃 ( 〃 )	〃 化学生物工学科長 ( 〃 )
採 用	5. 10. 12	山田 智恵		事務補佐員 (附属図書館)
	〃	松岡 弘二		〃 ( 〃 )
昇 任	5. 10. 16	恒川 正巳	助手 (名古屋大学文学部)	講 師 (人文学部)
退 職	5. 11. 1	福島 春代	臨時用務員 (教育学部)	平成5年10月31日限り退職した

# 学 位 取 得 者

学位取得者 理学部 助手 吉 田 高 士  
 学位の種類 理学博士 (新潟大学)  
 取得年月日 平成5年9月14日  
 学位論文名 Geometry of Almost Complex Manifolds.

## 関 係 法 令

### （省 令）

- 大学院設置基準の一部を改正する省令  
（文部32）

10. 1

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専門  
学校高等課程についてその課程を平成 5 年 3 月  
31日をもって廃止した件（同126）

10. 14

### （規 則）

- 人事院規則 9-2（俸給表の適用範囲）の  
一部を改正する人事院規則

（人事院 9-2-18）

10. 1

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した  
専修学校高等課程についてその名称を平成  
5 年 4 月 1 日から変更した件（同127）

10. 14

- 人事院規則 9-17（俸給の特別調整額）の一部  
を改正する人事院規則（同 9-17-45）

10. 1

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した  
専修学校高等課程についてその名称を平成  
5 年 9 月 1 日から変更した件（同128）

10. 14

- 人事院規則 9-55（特勤勤務手当等）の一部  
を改正する人事院規則（同 9-55-29）

10. 1

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した  
専修学校高等課程についてその名称を平成  
5 年 6 月 1 日から変更した件（同129）

10. 14

### （告 示）

- 大学入学に関し専修学校高等課程について  
文部大臣が個別に指定した件（文部123）

10. 14

- 大学入学に関し文部大臣個別に指定した専  
門学校高等課程についてその課程を平成 5  
年 4 月 1 日をもってその指定を解除した件  
（同130）

10. 14

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修  
学校高等課程についてその課程を平成 4 年 11 月  
12日をもって廃止した件（同124）

10. 14

- 歳入徴収官及び分任歳入徴収官を指定する  
件の一部を改正する件（大蔵226）

10. 22

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専門  
学校高等課程についてその課程を平成 4 年 12 月  
4日をもって廃止した件（同125）

10. 14

- 出納官吏事務規程第16条に規定する外国貨  
幣換算率を定める等の件の一部を改正する  
件（大蔵228）

10. 25

## 職 員 消 息

### 〈新任者住所〉

#### 人文学部

助 教 授 小 助 川 貞 次

（日本東洋言語文化）

#### 理学部

助 教 授 川 本 恵 一

（生体制御学）

#### 工 学 部

助 教 授 石 原 外 美

（強度設計工学）

助 手 高 野 登

（生産システム工学）

#### 附属図書館

事 務 長 奥 村 喜 代 志

### 〈住所変更〉

#### 事務局

#### 経理部経理課

文部事務官 村 崎 勝 子

（給与係）

## 訃 報

## 富山大学名誉教授 横山辰雄氏逝去



本学名誉教授横山辰雄氏が、平成5年8月5日に逝去（享年88歳）されました。

同氏は、昭和2年3月東京帝国大学工学部応用化学科を卒業後、同年4月三菱鉱業株式会社に勤務し、その後、同6年5月東京工業大学助手、同13年2月同学講師、同年3月満洲国国務院大陸科学院副研究官、同16年2月同院研究官となり、新京工業大学教授を兼務されました。その後、満洲国の解体に伴い日本に帰件後は、同21年11月小糸車両株式会社に入社し、静岡県立沼津東高等学校教諭を経て、同25年4月高岡工業専門学校講師（兼富山大学教授）に就任し、同26年2月富山大学教授となり、同45年3月停年により退官されました。

この間、約40年の永きにわたり、高等教育に尽瘁し、特に戦中・戦後の動乱期を経て今日に至る我が国の教育発展に誠心誠意貢献されました。

学内においては、本学工学部工業化学科の教授として、主として電気化学に関する研究に専念され、一方学生の教育には、厳しさと優しさとの調和をもって接し、堂々たる体躯に似合わぬ柔軟な物腰は学生に対して感化するところ大でありました。また、通算2期に及ぶ評議員と3期連続にわたる工学部長を歴任し、高い識見と冷静沈着な判断力と卓抜した指導力をもって大学の管理運営に参画され、本学に数多くの業績と大きな足跡を残されました。

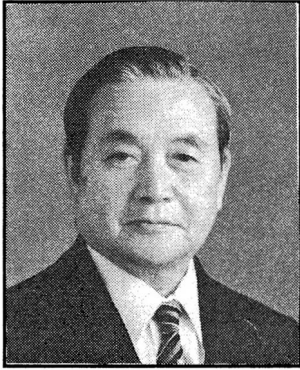
学外にあっては、電気化学協会北陸支部長、窯業協会北陸支部役員、北陸信越工業教育協会富山県支部長、北陸信越工業教育協会会長、更に日本工業教育協会理事を歴任され、学会及び産学共同に多大な貢献をされました。

これらの功績により、昭和45年5月富山大学名誉教授の称号を授与され、更に同49年11月勲三等旭日中綬章を受章されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

## 訃 報

## 富山大学名誉教授 養田 實氏逝去



本学名誉教授養田實氏が、平成 5 年10月19日に逝去（享年76歳）されました。

同氏は、昭和18年 9 月東京帝国大学第一工学部冶金学科を卒業後、同20年 9 月高岡工業専門学校講師に就任し、その後、同年12月同教授、同26年 3 月本学助教授、同29年 4 月同教授を経て同55年 4 月富山工業高等専門学校長に配置換えされ、同60年 3 月に退官されました。

この間、高岡工業専門学校着任以来約40年の永きに

わたり教育研究に精励され、将来の社会を担う優秀な人材の育成に尽力されました。

研究面においては、一貫して鉄鋼鑄造を主体として研究を行い、これらの業績により、昭和50年 4 月日本鉄鋼協会西山記念賞、同53年 5 月日本鑄物協会久保田鉄工賞を受賞されました。

また、学内にあっては、通算 4 期に及ぶ評議員と学生部長（昭和40年 9 月から同43年10月まで）を歴任し、本学の管理運営に参画され、大学の発展に多大な貢献をされました。

学外にあっては、日本鑄物協会、日本鉄鋼協会、日本金属学会及び日本熱処理協会の理事、評議員、支部長等を歴任され、学会の運営発展に尽くされました。

これらの功績により、昭和55年 4 月富山大学名誉教授の称号を授与され、さらに同62年11月勲二等瑞宝章を受章されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。



## 訃 報

## 富山大学名誉教授 森棟隆弘氏逝去



本学名誉教授森棟隆弘氏が、平成5年10月25日に逝去（享年85歳）されました。

同氏は、昭和10年3月九州帝国大学工学部冶金学科を卒業後、同年4月日本鋼管株式会社に勤務し、その後、同14年3月満洲国立ハルピン工業大学講師、同年4月同学助教授、同15年10月同学教授を歴任されました。満洲国の解体に伴い日本に帰着後は、同21年12月鉄道技術研究所、東栄製鉄会社創立事務所の勤務を経て、同26年9月本学教授に就任し、同48年4月停年により退官されました。

この間、永きにわたり教育研究に精励され、多数の優秀な工業技術者を社会に送り、これら卒業生の大多

数は革新期における産業躍進の担い手として活躍されております。

研究面においては、主として硫酸焼鉱の脱鋼と含有元素の完全回収について研究を行い、昭和30年には、文部省から科学研究促進補助金を受け、製錬研究室の整備充実に寄与されました。また、製鉄原料や乾式製錬の面でも新しい分野を開拓し、この業績が学会及び業界から高く評価され、同46年に日本金属学会から谷川ハリス賞を受賞されました。

学内にあっては、評議員及び附属図書館長を各1期歴任し、管理運営に参画され、大学の充実発展に多大な貢献をされました。

学外にあっては、日本学術振興会、鉄鋼技術共同研究会及び鉄鋼基礎共同研究会の委員、さらに、日本金属学会、日本鉄鋼協会の理事、北陸信越支部長等を歴任され、学会の発展に寄与されました。

これらの功績により、昭和48年4月富山大学名誉教授の称号を授与され、さらに同54年11月勲三等旭日中綬章を受章されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

諸

会

議

平成5年度第3回施設整備委員会（9月9日）

（審議事項）

- (1) 豊かな屋外環境整備計画について
- (2) 施設長期計画について
- (3) その他

平成5年度第3回学園ニュース編集委員会（9月9日）

（審議事項）

- (1) 第82号学園ニュースの編集について
- (2) その他

平成5年度第3回大学院委員会（9月10日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (2) その他

平成5年度第5回学生生活協議会（9月13日）

（審議事項）

- (1) 文化部会第1号委員（部会長）及び第2号委員の選出について
- (2) 体育部会第1号委員（部会長）の選出について
- (3) 平成5年度厚生補導研究会について
- (4) その他

平成5年度第8回評議会（9月17日）

（審議事項）

- (1) 平成5年9月卒業者の認定について
- (2) マレーシア国マレーシア工科大学との学術交流協定の締結について
- (3) 富山大学学科長に関する規則の制定について
- (4) その他

平成5年度第4回大学院委員会（9月17日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）学生募集要項について
- (2) 平成5年9月富山大学大学院経済学研究科（修士課程）修了者の認定について
- (3) 平成6年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (4) その他

平成5年度第2回国際交流委員会（9月17日）

（審議事項）

- (1) 平成5年度富山大学国際交流事業基金第2種外国人研究者の招へい事業(B)の採択について
- (2) マレーシア国マレーシア工科大学との学術交流協定の締結について
- (3) その他

平成5年度第4回入学試験委員会（9月24日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学学生募集要項（案）について
- (2) 富山大学入学者選抜健康診断判定基準及び平成6年度富山大学入学者選抜健康診断実施要項（案）について
- (3) 「平成9年度からの大学入試センター試験の出題教科・科目等について—中間まとめ—」についての意見及びアンケート調査について
- (4) 平成7年度における入学者選抜第2次試験の実施方式・日程等について

平成5年度第4回事務協議会（9月30日）

（議 題）

当面の諸課題について

# 主 要 行 事

## 本 部

- 9月1～3日 平成5年度文部省共済組合初任事務担当者会議（於：虎の門パレス）
- 2～20日 富山大学公開講座「ハイパーメディア体験講座」
- 3日 庶務係長会議
- 6日 第3回部局長懇談会  
平成5年度富山共済組合支部連絡協議会ソフトボール大会  
特別選抜学生募集要項公表
- 6～29日 富山大学リカレント学習コース「オフィスワーカーのための経営科学」
- 7日 第4回国際交流委員会留学生部会
- 9日 第3回施設整備委員会  
第2回自己点検評価委員会教育活動専門委員会  
第3回学園ニュース編集委員会
- 10日 第3回大学院委員会  
平成5年度秋の国立学校等経理部課長会議（於：東京医科歯科大学）  
第2回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会  
第2回富山県留学生等交流推進会議幹事会
- 12日 平成5年度国家公務員採用III種試験
- 13日 第5回学生生活協議会
- 14日 部課長会議
- 16日 国際交流委員会学術交流部会  
第2回自己点検評価委員会管理運営専門委員会  
第1回体育部会
- 17日 第4回部局長懇談会  
第4回大学院委員会  
第8回評議会  
第2回国際交流委員会
- 18日 平成5年度文部省共済組合富山地区共同事業体育大会（バドミントン）  
富山大学公開講座「脳と心」（10/30まで）
- 20日 文部省会計事務特別研修（10/8まで）
- 21日 富山大学公開講座「バドミントンコース」
- （10/8まで）  
会計係長会議  
「平成5年度国立学校等と産業界との研究協力」事務説明会（於：新潟大学）  
大学入学広報セミナー（於：有楽町朝日ホール）
- 21～22日 夜間教育実施国立大学事務局長会議（於：神戸大学）
- 24日 第4回入学試験委員会
- 26日 富山大学共済事業（地引き網）
- 27日 平成5年度東海・北陸地区管理事務協議会（於：名古屋大学）
- 27～28日 富山消防署立入検査（五福地区）
- 27～29日 第2回富山地区国立学校技術職員研修
- 27～29日 富山地区国立学校事務電算化要員養成研修会
- 28日 第52回東海・北陸地区国立学校等庶務部課長会議（於：名古屋大学）
- 29日 部課長会議  
平成5年度体育系サークルリーダー研修会（於：山野スポーツセンター）
- 30日 文部省高等教育局専門教育課長の特別講演  
第4回事務協議会  
第3回自己点検評価委員会教育活動専門委員会  
平成5年度東海・北陸地区国立学校等広報・文書研究協議会（於：高志会館）  
（10/1まで）

## 人 文 学 部

- 9月6日 学部入学者選抜方法検討委員会
- 7日 人文科学研究科教務等検討委員会  
授業時間割担当者会議  
学部教務委員会
- 8日 教授会  
教授会（人事）  
人文科学研究科委員会
- 16日 教授会（人事）
- 17日 係長会議
- 20日 学部講座代表者会議

- |     |                                  |                          |
|-----|----------------------------------|--------------------------|
| 22日 | 学部入学者選抜方法検討委員会                   | 大学院経済学研究科委員会             |
| 27日 | 学部自己点検評価委員会<br>係長会議<br>富山消防署立入検査 | 教授会<br>学部教務委員会           |
| 29日 | 教授会<br>人文科学研究科委員会                | 24日 防火対策委員会              |
| 30日 | 学位記授与式                           | 27日 富山消防署立入検査            |
|     |                                  | 29日 大学院経済学研究科入学試験        |
|     |                                  | 30日 経済学部・大学院経済学研究科学位記授与式 |

## 教 育 学 部

- 9月1日 附属養護学校第2学期始業式  
附属幼稚園第2学期始業式
- 3日 教育実習運営協議会
- 6日 学部紀要編集委員会  
大学院設置準備委員会
- 7日 入学者選抜方法検討委員会  
学部将来計画検討委員会
- 8日 学部教務・学生合同委員会  
人事教授会  
教授会
- 16日 学部紀要編集委員会
- 21日 教育学研究科準備委員会
- 22日 人事教授会
- 24日 予算委員会
- 27～28日 平成5年度北陸地区教員養成学部事務長協議会（於：新潟大学）  
平成5年度教育学部学生合宿研修（秋季）（於：国立立山少年自然の家）  
富山消防署立入検査
- 29日 附属学校運営委員会

## 経 済 学 部

- 9月7日 学部図書委員会  
学部教務委員会  
学部入学方法検討委員会
- 8日 教授会
- 8～14日 前学期末試験
- 10日 大学院経済学研究科委員会小委員会  
大学院経済学研究科委員会  
係長会議
- 16日 各種委員選考委員会
- 21日 学部図書委員会
- 22日 人事教授会

## 理 学 部

- 9月1日 大学院設置構想推進委員会
- 2日 学科主任会議
- 6日 学部入試改善委員会
- 7日 理学部案内編纂委員会
- 8日 教授会  
理学研究科委員会  
人事教授会  
理学研究科委員会専任教授会
- 9日 環境学研究科（博士課程）構想検討委員会
- 14日 学科主任会議  
学部職業補導委員会
- 16日 環境学研究科（博士課程）構想検討委員会
- 22日 大学院設置構想推進委員会教務部会
- 24日 学部情報化対策検討委員会  
学部廃水安全委員会
- 27日 学部動物実験委員会
- 28日 大学院博士課程設置構想懇談会  
富山消防署立入検査  
学部入試改善委員会
- 29日 学部自己点検評価委員会  
学科主任会議

## 工 学 部

- 9月1日 係長連絡会
- 6日 学部国際交流委員会  
技術職員待遇改善検討委員会
- 7～8日 工学研究科入学試験
- 9日 学部教務委員会
- 13日 博士課程設置準備委員会  
入学試験検討委員会
- 14日 教授会  
研究科委員会  
専任教授会

- 17日 博士課程実施対策委員会  
工学研究科合格発表
- 22日 共通機器運営委員会  
係長連絡会
- 24日 石川県立小松明峰高校PTA母親委員会来学
- 28日 富山消防署立入検査
- 30日 第17回国立大学47工学系学部長会議（於：神戸大学）

**附属図書館**

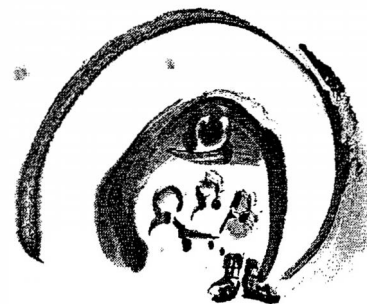
- 9月7日 係長連絡会
- 27日 平成5年度総合目録データベース実務研修会  
（於：学術情報センター）
- 28日 富山消防署立入検査

**水素同位体機能研究センター**

- 9月20日 人文学部、理学部及び水素同位体機能研究センター防火管理内規に基づく定期査察
- 29日 富山消防署立入検査

**地域共同研究センター**

- 9月1～10日 先端技術研修（バイオサイエンスコース）
- 6～17日 先端技術研修（情報処理コース）
- 9日 地域共同センター技術研究会  
材料部会第3回研究発表会
- 14日 第7回経営者・研究者交流会第2回実行委員会
- 16日 第1回技術セミナー
- 16～22日 先端技術研修（機械加工コース）
- 20日 地域共同研究センター運営委員会
- 24日 地域共同研究センター増築検討専門委員会





編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話 (24) 1755(代)